

SoftBank 301HW

お願いとご注意

このたびは、「SoftBank 301HW」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- SoftBank 301HWをご利用の前に、「クイックスタート（準備編）」、「クイックスタート（接続編）」、「お願いとご注意（本書）」および「取扱説明書」をご覧になり、正しくお取り扱いください。
- 取扱説明書は、ソフトバンクモバイルホームページ (<http://www.softbank.jp/mobile/support/product/301hw/>) からご確認ください。

SoftBank 301HW は、4G / LTE / 3G 方式に対応しております。

SoftBank 4G は、第 3.5 世代移動通信システム以上の技術に対しても 4G の呼称を認めるという国際電気通信連合（ITU）の声明に基づきサービス名称として使用しています。

ご注意

- ・本書の内容の一部でも無断転載することは禁止されております。
- ・本書の内容は将来、予告無しに変更することがございます。
- ・本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、お問い合わせ先までご連絡ください。

マナーとルールを守り安全に使用しましょう

安全のために

こんな使いかたはやめましょう。

- 分解・改造・ハンダ付けなどお客様による修理をしないでください。
火災・けが・感電などの事故または故障の原因となります。
- 落したり、投げたりして、強い衝撃を与えないでください。
故障などの原因となります。
- 本機を加熱調理機器（電子レンジなど）・高圧容器（圧力釜など）の中に入れたり、電磁調理器（IH 調理器）の上に置いたりしないでください。
故障などの原因となります。
- 高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用・放置しないでください。
機器の変形・故障の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、ヤけどなどの原因となることがあります。
- 本機を長時間ご使用になる場合や充電中など、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。長時間にわたって使用していると、低温ヤけどになる恐れがあります。

マナーを守ろう！

安全のために使用が禁止されています。

- 航空機内では本機の電源を切ってください。
航空機の安全に支障をきたす恐れがあります。航空機内で携帯電話等の電源を入れることは、法律で禁止されており、罰則の対象となります。
- 病院、研究所など本機の使用が禁止されている場所では、使用しないでください。医療機器などに影響をおよぼす場合があります。
- 電車やバスなどの優先席近くでは使用しないでください。ペースメーカーなど生命にかかる機器に影響をおよぼすことがあります。
- ゴルフ場など野外で雷鳴が聞こえたときは、落雷の恐れがありますので、使用しないでください。

安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになったあとは大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 本機の故障、誤動作または不具合などにより、通信などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

表示の説明

次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

	危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^{※1} 」を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。
	警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^{※1} 」を負う可能性が想定される内容です。
	注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷 ^{※2} 」を負う可能性が想定される場合および物的損害 ^{※3} のみの発生が想定される内容です。

※ 1 重傷とは、失明・けが・ヤけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをいう。
 ※ 2 軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・ヤけど・感電などをいう。
 ※ 3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかる拡大損害を指す。

絵表示の説明

次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

	禁止（してはいけないこと）を示します。		濡れた手で扱ってはいけないことを示します。
	分解してはいけないことを示します。		指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示します。		

301HW、USIM カード、電池パック (HWBBB1)、AC アダプタ (HWCBB1)、microUSB ケーブル (HWDAZ1) の取り扱いについて（共通）

△ 危険

本機に使用する電池パック・AC アダプタ・microUSB ケーブルは、ソフトバンクが指定したものを使用してください。

指定品以外のものを使用した場合は、電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や、AC アダプタの発熱・発火・故障や、microUSB ケーブルの発熱・発火・故障などの原因となります。

分解・改造・ハンダ付けなどお客様による修理をしないでください。

火災・けが・感電などの事故または故障の原因となります。また、電池パックの漏液・発熱・破裂・発火などの原因となります。本機の改造は電波法違反となり、罰則の対象となります。

濡らさないでください。

水やペットの尿などの液体が入ったときに、濡れたまま放置したり、充電すると、発熱・感電・火災・けが・故障などの原因となります。使用場所、取り扱いにご注意ください。

濡れ禁止

濡れた手で AC アダプタ・microUSB ケーブルの電源プラグや microUSB プラグを抜いてください。

濡れた手で AC アダプタ・microUSB ケーブルの電源プラグや microUSB プラグを差し込んでください。

濡れた手で AC アダプタ・microUSB ケーブルの電源プラグや microUSB プラグを差し込むと、火災・感電・故障の原因となります。

濡れ禁止

濡れた手で AC アダプタ・microUSB ケーブルの電源プラグや microUSB プラグを差し込むと、火災・感電・故障の原因となります。

△ 注意

お手入れの際は、コンセント・パソコンなどから、必ず AC アダプタ・microUSB ケーブルを持つてプラグを抜いてください。

感電などの原因となります。

AC アダプタ・microUSB ケーブルをコンセント・パソコンなどから抜くときは、AC アダプタ・microUSB ケーブルを持って電源プラグ・microUSB プラグを抜いてください。

感電や火災などの原因となります。

AC アダプタおよび microUSB ケーブルは、周囲温度 0 ~ 60°C、周囲湿度 25 ~ 80% の範囲でご使用ください。

お手入れの際は、コンセント・パソコンなどから、必ず AC アダプタ・microUSB ケーブルを持つてプラグを抜いてください。

AC アダプタ・microUSB ケーブルをコンセント・パソコンなどに接続しているときは、引っ掛けなど強い衝撃を与えないでください。

けがや故障の原因となります。

AC アダプタ・microUSB ケーブルのケーブルを引っ張ったり、無理に曲げたり、巻きつけたりしないでください。

また、傷つけたり、加工したり、上に物を載せたり、加熱したり、熱器具に近づけたりしないでください。

感電・発熱・発火の原因となります。

電源プラグ・microUSB プラグが傷んだり、コンセント・パソコンなどの差し込みがゆるかたりするときは使用しないでください。

お手入れの際は、コンセント・パソコンなどから、必ず AC アダプタ・microUSB ケーブルを持つてプラグを抜いてください。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

△ 警告

ここで記載している内容は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末などの使用に関する指針」(電波環境協議会)に準拠、また「各種電波利用機器の電波が植込み型医療機器へ及ぼす影響を防止するための指針」(総務省(平成25年1月))の内容を参考したものであります。

植込み型心臓ベースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、ベースメーカー等の装着部位から 15cm 以上離して携行および使用してください。

電波により植込み型心臓ベースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ベースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどに確認してください。

電波により医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。

医療機関などでは、以下を守ってください。本機の電波により医用電気機器に影響を及ぼす恐れがあります。

・手術室・集中治療室 (ICU)・冠状動脈疾患監視病室 (CCU) には、本機を持ち込まないでください。
・病院内では、本機の電源を切ってください。
・ロビーなど、本機の使用を許可された場所であっても、近くに医用電気機器があるときは、本機の電源を切ってください。
・医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

付近に植込み型心臓ベースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、身動きが自由に取れないほど混雑した状況等、15cm 以上離隔距離を確保できない恐れがある場合には、本機の電源をお切りください。

電波により、植込み型心臓ベースメーカーおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

お願いとご注意

ご利用にあたって

- SoftBank 4G サービスは、専用機種以外は利用できません。
- 本機はソフトウェアアップデートに対応しております。ソフトウェアは最新の状態でご利用ください。
- 本機は電波を利用してるので、サービスエリア内であっても屋内、地下、トンネル内、自動車内などでは電波が届きにくくなり、通信が困難になることがあります。また、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が急に途切れることができますので、あらかじめご了承ください。
- 本機を公共の場所でご利用になると、周りの方の迷惑にならないようにご注意ください。また劇場や乗り物などによっては、ご使用できない場所がありますのでご注意ください。
- 本機は電波法に定められた無線局です。したがって、電波法に基づく検査を受けていただく場合があります。あらかじめご了承ください。
- 以下の場合、登録された情報内容が変化・消失することがあります。情報内容の変化・消失については、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。情報内容の変化・消失に伴う損害を最小限にするために、重要な内容は別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。
- 誤った使いかたをしたとき
- 静電気や電気のノイズの影響を受けたとき
- 動作中に電源を切ったとき
- 故障したり、修理に出したとき
- 海外で無線 LAN をご利用される場合はその国の法律に基づいた設定変更が必要となります。設定については、取扱説書をご確認ください。
- 回線の混雑状況や通信環境などにより、通信速度が低下、または通信できなくなる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 爆発物を取り扱う場所、その近辺では本機を使用しないでください。爆発を誘発する恐れがあります。また、爆破装置などに影響を与える場合があります。
- 本機を利用する SIMカードは、一部機種（これまで当社より発売された機種を含む）ではご利用になれません。
- 充電中や長時間連続でご利用された場合、本機が熱くなることがあります。
- 長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどになる恐れがあります。取り扱いにはご注意ください。
- 充電中 AC アダプタが熱くなることがあります。

お取り扱いについて

- 雨や雪の日、および湿度の多い場所でご利用になる場合、水に濡らさないよう十分ご注意ください。
- 本機は防水仕様ではありません。
- 本機を極端な高温または低温、多湿の環境、直射日光のある場所、ほこりの多い場所でご利用にならないでください。
- 本機を落としたり衝撃を与えないでください。
- 本機をお手入れの際は、乾いた柔らかい布で拭いてください。また、アルコール、シンナー、ベンジンなどを用いると色があせたり、文字が薄くなったりすることがありますので、ご使用にならないでください。

タッチパネルについて

- ディスプレイの表面に爪や鋭利な物、硬い物などを強く押し付けないでください。傷の発生や破損の原因となります。
- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先のとがったもの（爪・ボールペン・ピンなど）を押し付けたりしないでください。
- 以下の場合はタッチパネルに触れてても動作しないことがあります。
- また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
- 手袋をしたままでの操作
- 爪の先での操作
- 異物を操作面に乗せたままでの操作
- 保護シートやシールなどを貼っての操作
- ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
- 濡れた指または汗で湿った指での操作
- ポケットやカバンなどに入れて持ち運ぶ際は、タッチパネルに金属などの伝導性物質が近づいた場合、タッチパネルが誤動作する場合がありますのでご注意ください。
- タッチ操作は指で行ってください。ボールペンや鉛筆など先が鋭いもので操作しないでください。正しく動作しないだけでなく、ディスプレイへの傷の発生や、破損の原因になる場合があります。
- タッチパネルにシールやシート類（市販の保護フィルムや覗き見防止シートなど）を貼らないでください。タッチパネルが正しく動作しない原因となる場合があります。
- 爪先でタッチ操作をしないでください。爪が割れたり、けがの原因となる場合があります。

無線 LAN について

周波数帯域について

周波数帯(2.4GHz帯)について

本機の無線 LAN は、2.4GHz 帯の 2400MHz から 2483.5MHz までの周波数を使用します。

無線 LAN 搭載機器が使用している周波数帯は、本機の個装箱に記載されています。

2.4DS/OF4

2.4 : 周波数 2400MHz 帯を使用する無線装置であることを示します。

DS/OF : 変調方式が DSSS、OFDM であることを示します。

4 : 想定される与干涉距離が 40m 以下であることを示します。

— : 2400MHz ~ 2483.5MHz の全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避できることを示しています。

利用可能なチャンネルは国により異なります。

航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

無線 LAN を海外で利用する場合、ご利用の国によっては使用場所などが制限される場合があります。その場合は、その国の使用可能周波数、法規制などの条件をご確認のうえ、ご利用ください。

周波数帯(5GHz帯)について

本機の無線 LAN は、5GHz の周波数帯を使用します。電波法により 5.2GHz 帯および 5.3GHz 帯の屋外利用は禁止されています。

本機が使用するチャンネルは以下の通りです。

W52 (5.2GHz 帯 / 36, 40, 44, 48ch)

W53 (5.3GHz 帯 / 52, 56, 60, 64ch)

W56 (5.6GHz 帯 / 100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140ch)

無線 LAN についてのお願い

電気製品・AV・OA 機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。

磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります。特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります。

テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。

近くに複数の無線 LAN アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

本機の無線 LAN が使用する 2.4GHz 帯では、電子レンジなどの家庭用電化製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用している移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。

万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいたうえで、混信回避のための処置（例えば、パーティションの設置など）を行うか、使用場所を変更してください。

無線 LAN は、LAN ケーブルの代わりに、電波を利用してパソコンなどの無線 LAN 端末と無線 LAN アクセスポイント間で情報のやり取りを行なうため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能になるという利点があります。

その反面、電波が届く範囲内であれば、障害物（壁など）を超えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合は、通信内容を盗み見られたり不正に侵入されたりするなどのセキュリティ上の問題が発生する可能性があります。本機は、お買い上げ時の状態でセキュリティ機能が働くように設定されています。ただし、安全性を考慮して、お買い上げ時のセキュリティ設定を変更してお使いになることをおすすめします。セキュリティ機能の設定方法については、取扱説明書およびお使いの無線 LAN 端末の取扱説明書を参照してください。

無線 LAN の仕様上、特殊な方法によってセキュリティ設定が破られることもありますので、ご理解いただいたうえでお使いください。

セキュリティ設定などについて、お客様で対応できない場合には、お問い合わせ先までご相談ください。

無線 LAN 機能をご利用の際に、上記のようなセキュリティに関して発生するいかなる問題についても、当社は保証いたしかねますのでご了承ください。

知的財産権について

- SOFTBANK およびソフトバンクの名称、ロゴは日本およびその他の国におけるソフトバンク株式会社の登録商標または商標です。
- HUAWEI は、中国 HUAWEI TECHNOLOGIES CO., LTD. の商標または登録商標です。
- Microsoft®、Windows®、Internet Explorer、Windows Vista® は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における商標または登録商標です。
- Windows は Microsoft Windows operating system の略称として表記しています。
- iPhone の商標はアイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。Mac、Macintosh、Safari、iPhone、iPod、iPod touch、iPad は Apple inc. の登録商標です。TM and © 2011 Apple Inc. All rights reserved.
- Apple は Apple Inc. の商標です。
- PlayStation、PS3、PSP は、株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの商標または登録商標です。また、PSVITA は同社の商標です。
- Wii、Wii U、ニンテンドー3DS LL、ニンテンドー3DS、ニンテンドーDSi LL およびニンテンドーDSi は、任天堂の商標または登録商標です。
- Wi-Fi®、WPA™、WPA2™、Wi-Fi Protected Setup™ とそのロゴは、Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。
- Google、Android、Google Chrome は、Google Inc. の商標または登録商標です。
- Firefox は、米国 Mozilla Foundation の米国及びその他の国における商標または登録商標です。
- Opera は Opera Software ASA の商標または登録商標です。Opera に関する詳細については、<http://www.opera.com/ja/> をご覧ください。
- その他、本書に記載されている会社名および商品・サービス名は、各社の商標または登録商標です。

301HW の比吸収率 (SAR) について

この製品【301HW】は、電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この製品は、国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関 (WHO) と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会 (ICNIRP) が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率 (SAR : Specific Absorption Rate) で定めており、この通信端末に対する SAR の許容値は 2.0W/kg です。この製品を次に記述する所定の使用法で使用した場合の SAR の最大値は 0.785 W/kg です。個々の製品によって SAR に多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

この製品を人体の近くで使用になる場合

この製品を人体の近くでご使用になる場合、身体から 1.0 センチ以上離してご使用ください。このことにより、この製品は電波防護の国際ガイドラインに適合します。

世界保健機関は、「携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで 20 年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。」と表明しています。

携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合の SAR の測定法は、平成 22 年 3 月に制定された国際規格(IEC62209-2)及び国の中の技術基準(平成 26 年 4 月 1 日施行)にもとづきます。

SAR について、さらに詳しい情報をお知りになりたい場合は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ

<http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

一般社団法人電波産業会のホームページ

<http://www.arib-emf.org/index02.html>

欧州における電波ばく露の影響に関する情報

この機種【301HW】は無線送受信機器です。本品は国際指針の推奨する電波の許容値を超えないことを確認しています。この指針は、独立した科学機関である国際非電離放射線防護委員会 (ICNIRP) が策定したものであり、その許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。

国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率 (SAR : Specific Absorption Rate) で定めており、この通信端末に対する SAR の許容値は 2.0W/kg です。この製品を次に記述する所定の使用法で使用した場合の SAR の最大値は 0.785 W/kg です。個々の製品によって SAR に多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

この製品を人体の近くでご使用になる場合

この製品を人体の近くでご使用になる場合、身体から 1.0 センチ以上離してご使用ください。このことにより、この製品は電波防護の国際ガイドラインに適合します。

世界保健機関は、「携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで 20 年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。」と表明しています。

携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合の SAR の測定法は、平成 22 年 3 月に制定された